

消防職員 特別教育

第19回警防活動教育を実施しました

[期 間] 令和6年7月16日（火）から7月24日（水）まで
7日間（56時限）

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 厳しい条件下において、警防活動を遂行し得る旺盛な士気の下に
基本的知識と技術の向上が図られ、警防隊員として適切かつ効果的
な消防活動ができる。

[教育対象] 警防活動に従事させようとする者で、初任教育修了者かつ採用後
3年以上の消防経験を有する35歳以下の者

[修了者] 26消防本部(局) 60名



第19回警防活動教育 日課表

自 令和6年7月16日(火)
至 令和6年7月24日(水)

月/日 (曜)	小 隊	1時限目 8:40~9:30	2時限目 9:30~10:20	3時限目 10:40~11:30	4時限目 11:30~12:20	5時限目 13:20~14:10	6時限目 14:10~15:00	7時限目 15:20~16:10	8時限目 16:10~17:00	備考
7/16 (火)	1	入校式 校内服務	学生面談	ポンプ車の作り (講義)		火災 防ぎよ (講義)	安全管理 (講義)	安全管理 (実技)	ミーティング 車両資機材 説明	1日目 入校式
	2									
7/17 (水)	1	火災性状 (講義)	火災性状 (実演)		熱画像 直視 装置 取扱要領 (講義)	ホース 延長要領 (講義)	ノズル 取扱要領 (講義)	吸気排気 訓練 助教官 展示	吸気排気 訓練	2日目
	2									
7/18 (木)	1	ポンプ運用 (講義)		ホース延長訓練		ポンプ運用訓練				3日目
	2	三連はしご取扱い 訓練		屋内進入・延焼防止 要領 (講義)		屋内進入・延焼防止訓練				
7/19 (金)	1	三連はしご取扱い 訓練		屋内進入・延焼防止 要領 (講義)		屋内進入・延焼防止訓練				4日目
	2	ポンプ運用 (講義)		ホース延長訓練		ポンプ運用訓練				
7/20(土)										
7/21(日)										
7/22 (月)	1	木造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								5日目
	2	耐火造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								
7/23 (火)	1	耐火造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								6日目
	2	木造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								
7/24 (水)	1	効果測定	隊員退出・緊急退出要領			車両・資機材整備		校内服務	修了式	7日目 修了式
	2									

スローガンは「ONE TEAM」



ポンプ車の作り



安全管理実技



ミーティング車両資機材説明



火災性状(実演)



熱画像直視装置取扱要領



ノズル取扱要領



支援教官展示



吸気排気訓練



三連はしご取扱い訓練



ポンプ運用訓練(座学)



ポンプ運用訓練(実技)



屋内進入・延焼防止訓練(座学)



屋内進入・延焼防止訓練(実技)



ホース延長訓練(座学)



ホース延長訓練(実技)



木造火災想定訓練



木造火災想定訓練



耐火造火災想定訓練



耐火造火災想定訓練



隊員退出・緊急退出要領



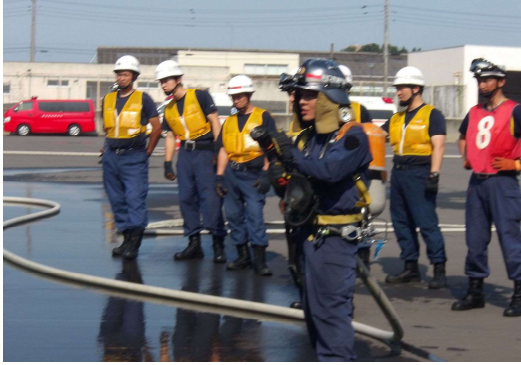
隊員退出・緊急退出要領



一部の訓練は熱中症対策として防火衣を着ない装備で実施
また放水銃にて水幕とアスファルトの冷却を実施



実施学生、撤収の学生、見取り学生全員に
クールベストを強制的に装着



入校式

「第19回」の絆



修了式



埼玉県は・・・
「ワンティーム！！」



修了しての感想

第19回警防活動教育では、7日間という短い期間での研修の中で、火災防ぎよ、火災性状といった、座学に加え、厳しい条件下における警防活動を遂行するための技術を学びました。

特にホーストレーニングでは、ホースの受傷形態・ホース延長・展開方法を学び、現場の状況に応じた延長（整理）を実践することができ、災害現場で多く見られるホースのV字破断を未然に防ぎ、安全確実な活動を習得することができました。

また、7月の猛暑の中での訓練でしたが、熱中症対策として、冷却ベストの着用、水分の配布など、あらゆる対策がなされており、安心して訓練を実施することができ、学生全員が無事研修を修了できたことに感謝申し上げます。

最後に、本研修に関わる教官方の入念な準備、応援して下さった全ての方々に、感謝の気持ちを忘れることなく、今後の消防人生に活かしていこうと思います。



後輩へのメッセージ

警防活動教育は7日間と期間が非常に短く、あっという間に過ぎていきます。1つでも多くのことを吸収できるよう、たくさん挑戦して、たくさん失敗してください。失敗から学ぶことも大切です。そして、何事も全力でやってください。訓練で流した汗の分だけ、住民の涙が減ります。

皆様のこれからの活躍を期待しております。頑張ってください。

修了しての感想

7日間という短い期間でしたが、火災防ぎよ、火災性状、ホース延長要領、ノズル取扱要領はもちろんのこと、機関員として必要なポンプ車の構造に至るまで様々な座学から実災害を想定した実技訓練を実施しました。また、全60名の仲間が一人も欠けることなく共に学び、本教育を通して他の消防本部との情報交換や横の繋がりを持つことができ、とても実り多い研修となりました。

警防活動教育を通して、消防基本戦術の知識・技術を習得する上で最も重要なことは、日々変化する環境に対応するために常にアップデートしていかなければ今後起こり得る多種多様な災害に対応できないということ学びました。現在では半数以上の住宅が高気密・高断熱の住宅となっており、ひと昔前とは住宅事情も変化し多様化が進んでいることから、建物構造に対する消防基本戦術をよく理解した上で、様々な戦術から最適解を導き出し、効率的な部隊活動を行うことで被害を最小限に抑え、最終的には要救助者の早期救出にも繋がっていくことを実感いたしました。

最後に、今後は警防活動教育修了者としての自覚と責任を持ち自己練磨に努め、所属、消防全体の成長発展に貢献できるよう日々精進していきたいと思っております。



後輩へのメッセージ

警防活動教育は屋外訓練場での活動がメインとなります。梅雨時期ではありますが、猛暑日が続くヒートストレスを感じる中での訓練となります。警防活動教育のための事前訓練と合わせて熱中症対策として暑熱順化のトレーニングを実施することを推奨します。また、訓練中の水分補給や体調管理にも十分留意して下さい。

短い期間の教育課程ではありますが、携わってくれる全ての方々に感謝の意を込めて全力で訓練に立ち向かい、仲間との情報共有や交流を深めて、最高の学校生活を送って下さい。